

1 8年間松本医院に通院。痒みと痛みを耐え、
松本理論を実感されている方の手記。

「アトピー・ヘルペスとの戦い 36 年間」

吉川淳 36 歳

2016 年 4 月 6 日

私は、物心付いた頃より体中の痒みがあるごとに、町医者に連れて行かれステロイド剤を処方されていました。また、風邪を引けば抗ヒスタミン剤の入った飲み薬を飲んでいました。それをスタートに、松本医院を知人に教えて頂くまで18年間病院をたらい回しにされてきました。どんな塗り薬や飲み薬をもらっても、一時的にはアトピーの症状が良くなったように見えても、すぐに悪化し、副作用の方が勝って、顔も身体全体も肌が薄くなり、汗が出はじめ、色も浅黒いのを乗り越え、痒みと痛みで夜も寝られなくなりました。酒でごまかしても眠れずアルコールで暖かくなって更に痒くなるの悪循環の毎日で、もう一生治らないとの固定観念から、本当に自殺一歩手前まで心身ともに疲れ果てていました。

そんな時、友人が、ステロイド剤を一切使用せず漢方薬だけで治す病院があると、松本医院を紹介してくれました。その時もう一つ検討している病院がありました。静岡県にある入院型集中治療で、全身のアトピーが治るとテレビでも報道されていた病院です。『何年間分のステロイド剤を全身包帯ぐるぐる巻にして浸透させ、注射でもステロイド剤を投与する』という病院です。母と引越してでも行くべきかと話していました。松本医院と静岡の病院、最後に2つの選択肢が出ましたが、もうステロイド剤は嫌になっていたのでも、松本医院を選びました。

初めて松本医院長先生に会った開口一番が、「オレが全部責任持って、キミのアトピー絶対治したげるから！オレを信じてろ！！」との言葉にやっと助かった、やっとオレのアトピー治るんやと本気で信じて、言葉も出せないほど、涙が出そうなほど感動し安堵しました。

この松本先生を信じて、この病院でどんなに辛いリバウンドや副作用にも耐えて治そうと決心でき、またその場で、今まで使用してきたステロイド剤（飲み薬と塗り薬）を全て見せて、先生に「こんな物使ったら、一生治らんし、

いま捨ててもええな」と全部ゴミ箱へ捨てました。過去と決別し、漢方治療がスタートしました。

かき傷や患部に塗る紫雲膏という赤い塗り薬を基本に、毎日食後に飲む漢方の煎じ薬、そして一日三回お風呂に1～2時間入る入浴の漢方薬を使い、最初の約半年は、脱ステロイド剤の強い副作用（リバウンド）で、通院前よりも、顔も身体全体の皮膚もほとんど崩壊し、汗が溢れ出し、強い強い痒みと痛みで、気が狂いそうになりました。しかしこれを乗り切れば治るという気持ちと、松本先生が、「何かあったらすぐ電話してきい」と個人の携帯電話まで教えてくださり適切なアドバイスと、先にアトピーやアレルギー症状を乗り越えられた方々の手記によって、なにより勇気付けられました。想像以上の苦しみを耐えに耐えて、段々と辛かった一日三回のお風呂にも、皮膚が弱いながらも、全身元に戻ってきて、お風呂に入っている時間が、強い痒みが和らぐ安らぎになりました。夜はまだ、痒みで眠れず朝昼の間に、うっすらと休む程度に過ごしていました。毎日煎じ薬や、お風呂に入れる薬の炊き出し、汗や薬が染み込んだ服やら布団の洗濯・食事全てを、忙しい仕事の中母がやってくれました。「あなたは、アトピーを治すのが仕事や」と、18才の私を支えてくれた母親には、本当感謝しております。

半年後に、まだ弱いながらも顔身体全体に、まともな肌が張り出し、赤みがあってもまだ痒みが強いながらも、汗は出なく、生活もまあ普通に過ごせるようになり、少しは、外出も出来るまでに回復していきました。

それからは、段々と夜も寝られるようになり松本医院通院1年後には、漢方のお風呂も、卒業し、食後に煎じ薬と紫雲膏塗り薬だけを使用し、友人とも遊びに行け、社会復帰を果たし、仕事にも行けるまでになりました。汗をかく夏は、濡れていると痒くなって荒れるので着替えをこまめに行い、冬の乾燥時期も、肌荒れで痒くなりますがそれほど問題なく過ごせ、順調な日々が続いていました。しかし、油断もあり人にももらったムヒ「ステロイド剤塗り薬」を使ってしまい、あまりにスッキリして気持ちがよく、23才の頃1年間ほど使い続けてしまい、やはり副作用を感じ松本医院を受診しました。先生に相談し、『浮気して苦しむのは、自分やし、ウチは儲かるけど、アホな事したな』と叱られました。血液検査でもIgE抗体にもリバウンドが見られ、そこから半年ほど仕事を休業するほどアトピーでまた苦しみました。なんとか回復し、仕事に復帰、私生活でも結婚し、子供2人にも恵まれ、アトピーも完治まで間近と、本当に幸せな生活を送っていました。しかし私の無学無知の為、たまに頭痛に悩まされていて、先生に相談すること無く、またまた頭痛薬「バファリン」等を使ってしまいました。33才頃から、夏が過ぎ冬に入ったすぐにヘルペスが出だし、松本医院では、抗ヘルペス薬をもらい症状は、すぐに消えていましたが、2～3年の間に、ヘルペスが頻繁に出るようになりました。その時やっと、自身が使っている頭痛薬の危険性と関係性に気付き、医院のホームページで調べて頭痛薬の使用を辞めた頃には、手遅れでした。35才にして、全身のヘルペ

スでまた仕事を休業。改めて、松本先生に相談し『頭痛薬や鎮痛剤で、ヘルペスウイルスとの戦いを抑えてる間に、神経細胞でウイルスは増え続けて、免疫が戦いよった時に細胞を壊してヘルペスウイルスを殺して症状がでるんや、最後は、ヘルペスや!』と教えて頂き、また副作用との戦いが始まってしまいました。今度は、IgE 抗体数は、それほど高くなく、ヘルペスウイルスの数値が異常に高くなっていて、アトピーは、顔や唇や首の薄い肌の所から汁が出ている程度でした。寝不足やストレスがかかるとヘルペスが酷くなる程になりました。やはり仕事が出来なくなり、また1年と半年ほど休業となりましたが、家族も会社も回りの皆さんは、私のバカさ加減とアトピーに慣れておりますので暖かく優しく見守ってくれて、ゆっくりとマイペースで、辛く苦しい闘病生活をいつものように乗り越える事が出来ました。

今度こそ、まさに三度目の正直、松本先生からも「苦勞して、二倍、苦しんだ分いっぱい勉強して、世の中の医者や病院、製薬会社が金儲けの事しか考えてない事がわかったやろ! 病気は、医者を作ったんや! 自分の免疫があれば自分で全部治すことが出来る」と言われました。

私は、一般皮膚科で処方ステロイド剤塗り薬と飲み薬、薬局で売っている塗り薬、頭痛薬でアトピー性皮膚炎と、ヘルペスになりました。36年間、本当に辛い痒みと痛みを存分に味わいました。松本先生に出会わなければ、確実に20才までに自殺していたと思います。アトピーが治って普通に生きているだけで本当に幸せを感じており、松本医院が、あらゆる病の治療においても世界初だと私は思っています。今から治療を松本医院でスタートする方、またネットで調べたりして、松本先生を知られた方々、松本先生が言われ書かれている通り絶対に治ります。辛いリバウンドを乗り越えれば必ず普通の日常生活が手に入ります。出来れば、私みたいに自分の無知無学で、薬局や市販の薬などに手を出されたように、わからない事があれば、すぐに松本先生に相談し何でも聞いてくださいね。わざわざ遠回りをして苦しまずに済みますんで(笑)